

長浜・米原方面

近江今津駅	13:43	14:43	15:43
近江塩津駅	(14:05)	(15:05)	(16:05)
木ノ本駅	14:14	15:14	16:14
長浜駅	14:29	15:29	16:29
米原駅	14:42	15:42	16:42

大津・京都方面

近江今津駅	14:10	14:26	15:10
山科駅	14:53	15:27	15:53
京都駅	14:58	15:33	15:58

琵琶湖周航の歌

「今日は今津か、長浜か」と歌われる「琵琶湖周航の歌」。琵琶湖の美しい自然と、周航のロマンを情緒豊かに歌い上げたこの歌は、大正6年に高島市今津町で生まれました。

時代を越えて歌い継がれるこの名曲は、滋賀の宝物です。

歌の誕生

大正6年6月、第三高等学校(現京都大学)二部クルーは学年末(当時7月卒業)の慣例によって琵琶湖周航に出発しました。小口太郎一行は大津の三保ヶ崎を漕ぎ出て、1日目は雄松(志賀町近江舞子)に泊まり、2日目の6月28日は、今津の湖岸の宿で、疲れをとっていました。

その夜、クルーのひとりが「小口がこんな歌をつくった」と同行の漕友に披露し、彼らはその詞を、当時彼らの間で流行していた歌の節に乗せるとよく合ったので、喜んで合唱したということです。「琵琶湖周航の歌」誕生の瞬間でした。

JR 近江今津駅

スタート

1.8km

阿志都弥神社 (1.8km)

0.7km

勤労体育センター (2.5km) / WC

3.0km

今津公園 (5.5km) / WC・昼食

0.6km

琵琶湖周航の歌記念碑 (6.1km)

2.1km

水鳥観察センター (8.2km) / WC

2.3km

JR 近江今津駅 (10.5km)

ゴール

阿志都弥(あしづみ)神社

当宮は神代の昔、この幽邃な霊地に神気を感じて、葦津姫命(あしつひめみこと)を勧請して阿志都弥(あしつひめ)大明神と称した事に始まり、延喜式内の名社で国幣社として祀られ上野山大社、櫻花大明神とも称されています。日本書紀によると木花咲那姫命(葦津姫命)が、天甜酒(あまのたむけざけ)を醸された御事跡が記載され、又推古天皇 30 年に新羅征伐副將軍の近江脚身臣(おうみあしづみのおみ)が当地に住んで崇拝したお社であるといわれている。

ながはまウォークらぶ 第255歩

『琵琶湖周航の歌発祥の地を訪ねる』

2019年12月7日(土) 10.3 km

